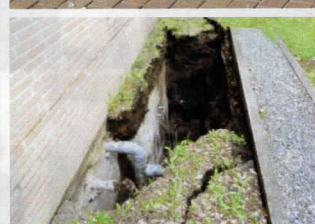
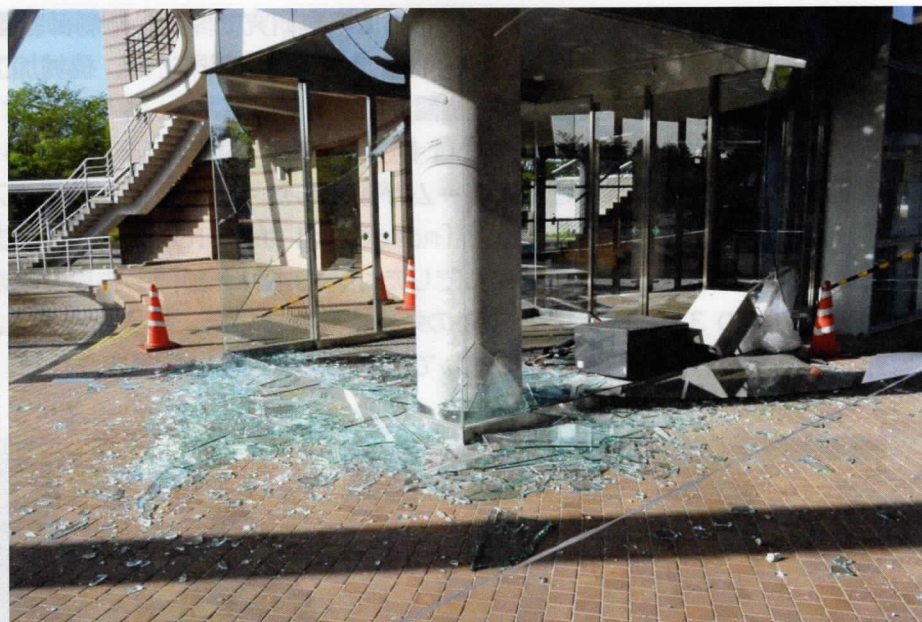
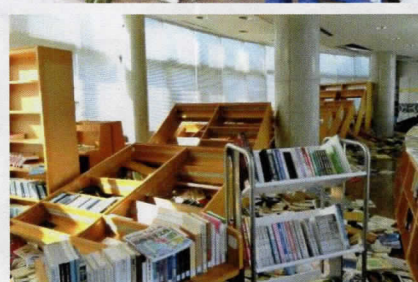
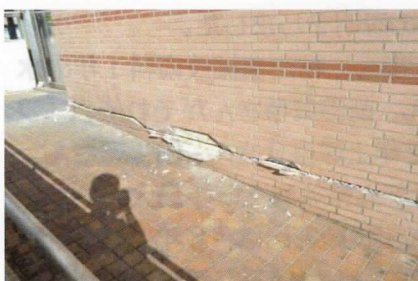


GitanNews / 2016.1 号

熊本 地震

今年4月14日、16日に起きた熊本地震による本校及び学生への被害は甚大なものでした。3か月が経った今でも、本校学生の中には、避難所から、そして夜も明けない時間に代替バスに乗って通学している学生もいます。その様な中、各方面からのご支援及びご心配や温かい励ましのお言葉をいただき、心から感謝申し上げます。私たちはこれから新たな一歩を踏み出していきます。遅くなりましたが、今年2月以降の学生の活躍等をお届けします。これからも技短に変わりない応援をお願いいたします。

がんばろう熊本! がんばろう技短



熊本県立技術短期大学校

校長 里中 忍

この度の熊本地震は、私たちの想像をはるかに超える強烈なものでした。本校の建物や施設も大きな被害を受けました。幸い、学生や教職員は全員無事でした。それぞれが震災を受けたにもかかわらず、教職員は救援物資の搬入・搬出や周辺地域への応援に、学生はボランティア活動に励んでくれました。また、国内外の多くの皆様方からの励ましのメッセージや御芳志を賜りました。元氣ももらいました。復旧・復興活動を通じて、日本は、熊本は、本校はまだまだ見捨てたものではないことも学びました。

地震発生直後から休校にしていた授業も5月9日には再開することができました。地震被害からの復興に向けて皆様方と協力しながら、一歩一歩前進していく所存です。これまでのご支援に感謝すると共に、これからもご協力よろしく申し上げます。

地震の影響もあって、遅くなりましたが、今回、本校の活動を「Gitan News」としてまとめてお知らせすることになりました。ご一読いただくと幸いです。皆様方からのご意見も歓迎いたします。

ポリテックビジョン 2016 in 北九州

研究発表会、作品展示、機械加工技術コンテスト、ロボット競技大会の出場
本校のロボット「nokonoko」は惜しくも準優勝！

平成 28 年 2 月 26 日（金曜日）、27 日（土曜日）の両日、九州職業能力開発大学校（北九州市小倉南区）で開催された九州ブロックの「ポリテックビジョン 2016 in 北九州」に参加しました。

本年度は、研究発表会、作品展示、機械加工技術コンテスト及びロボット競技会に、学生、教職員併せて約 30 名が参加し、卒業研究の時間や放課後に残って取り組んできた成果を披露しました。

研究発表会では、精密機械技術科 2 年宮崎大和さん、機械システム技術科 2 年黒木裕也さん、情報システム技術科 2 年副島直人さんと渡邊裕基さんが、それぞれ、「日韓合同ものづくり教育交流プログラム」、「3Dプリンターを用いた設計教育教材の開発」、「携帯端末用表情認識システムの構築」について発表し、聴講者からの多くの質問に対してもてきばきと答えていました。作品展示には、機械システム 2 年藤森慎太郎さんと土屋諒太さんが卒業研究で取り組んだ「制御技術の工学教育における実験装置の開発制御」を出展し、ブースを訪れた見学者に卒業研究で開発した制御装置の説明をしました。

九州地域の他の学校と技や頭脳を競うコンテスト部門では、機械加工技術に精密機械技術科 1 年の水上雄一朗さんと宮崎裕貴さんが「旋盤」に、北里拓海さん、幸野真斗さん、前田篤希さんがそれぞれ「フライス盤」に出場しました。ロボット競技会には、機械システム技術科 2 年上津良介さん、田上遥さん、田尻幸輝さん、西中春稀さんのチームが製作した「TNK」と、電子システム技術科 2 年牛島大志さん、原永美咲さんのチームが製作した「nokonoko」が参加しました。機械加工技術部門は、今年は残念ながら入賞を果たすことができませんでしたが、ロボット部門の牛島・原永チームは僅差で優勝を逃したものの、昨年の 3 位を上回る準優勝の栄誉に輝きました。競技会終了後、安川電機ロボット館長からもロボットの安定した走行と性能に対してお褒めの言葉をいただきました。



卒業研究発表会

この1年間の取組みの成果を発揮できたか！

平成 28 年 3 月 7 日（月曜日）、8 日（火曜日）の両日、2 年生の卒業研究発表会が開催されました。

7 日は精密機械技術科 25 名と機械システム技術科 20 名が、8 日は電子システム技術科 23 名と情報システム技術科 21 名が 1 年間かけて取り組んだ卒業研究の成果を発表しました。発表は大きな成果を収めたもの、成果には至らなかったが開発の難しさを学んだものなどいろいろでしたが、1 年間の取り組みの様子が想像できるものでした。また、発表会には、4 月から就職する予定の企業からも参加があり、教員や学生、外部からの聴講者の質問に、緊張しながら答えていました。

卒業研究は、答えがわかっていない課題に対して、これまで学んだ専門の知識とすでに公表されている知見や技術を参考にしながら、課題を解決する方法、技術開発、装置開発などを模索する取り組みです。答えは一つでないことが多く、本校学生の想像力を養う重要な授業科目になっています。成果は卒業研究概要集として関連機関に配布していますが、一部はポリテックビジョン 2016 in 北九州でも発表しています。



卒業式 & 謝恩会

89名の学生が社会に羽ばたく

平成 28 年 3 月 19 日（土曜日）、本校体育館にて第 18 回熊本県立技術短期大学校卒業式が行われ、89 名の学生が社会へ羽ばたいていきました。当日は高口熊本県商工観光労働部長（知事選中、蒲島熊本県知事代理）、小早川熊本県議会副議長（県議会議長代理）、菊陽町長、合志市長をはじめ、多くのご来賓のご臨席のもと、卒業生を代表して精密機械技術科の中島颯太君に卒業証書が授与され、式辞で里中校長が「これからは変革と多様性の時代。本校で学んだ知識と技能に磨きをかけ、常に新しいことに挑戦し続けてください。そして、プロフェッショナルや匠と呼ばれる技術者になってください。」と激励。卒業生総代の情報システム技術科の小川翔平さんが、「日々、探究心を持って励み、一人前の技術者になります。」と決意を述



べました。

また、成績が極めて優秀で他の学生の模範となると認められた学生に渡される「校長賞」は、中島颯太さん(精密)、中嶋勇斗さん(機械)、牛島大志さん(電子)、江藤実哲さん(情報)に授与されました。

卒業研究の内容と取り組む姿勢が特に優秀と認められた学生に対し送られる「技術賞」は下記の皆さんでした。

【技術賞】

□精密機械技術科 宮崎大和さん、千葉優介さん

研究テーマ『3Dスキャナー装置の設計製作－Structured Lightの利用－』

□機械システム技術科 土屋諒太さん、藤森慎太郎さん

研究テーマ『リアクションホイールを用いた振子制御系の開発』

□電子システム技術科 田村晃靖さん、細井幸恵さん

研究テーマ『輪郭・距離画像を利用した物体認識』

□情報システム技術科 岡村美沙季さん、中瀬寛久さん、山田芙美也さん

研究テーマ『携帯端末で動作する観光情報VRアプリケーションソフトの設計と実装』



卒業式後、ホテル日航熊本で自治会主催の謝恩会が盛大に開催されました。クラス担任には卒業生より花束が贈られるなど、感謝の心がこもった会となりました。卒業生のみなさまには、本学で学んだことを社会で活かし、ご活躍されることを在学生、教職員一同心より願っています。



技 短 news No4

入学式

第20期生85名が技短生に！

平成 28 年 4 月 5 日（火曜日）、熊本県立技術短期大学校第 20 回入学式を 85 名の新入生を迎えて挙行了しました。

里中校長から「皆さんは無限の可能性を持った宝石の原石です。明確な目的意識を持ち、謙虚な姿勢で勉学と技能習得に励んでください。そして、いろいろなことに挑戦し、「気付く力」「考える力」「閃く力」を養ってください。県民をはじめ産業界、経済界の方々も皆さんに大いなる期待を寄せています。」との式辞がありました。



また、小野泰輔副知事から告辞があり、熊本県議会副議長小早川宗弘様から祝辞をいただきました。

新入生の名前一人一人を1年生の担任が読み上げたのち、入学生総代の機械システム技術科 内田直哉君が「常に前向きに勉学に励み、熊本県産業の発展に貢献できる高度な知識と技術を併せ持つ実践技術者となるため、日々前進していくことを誓います」と宣誓を行いました。

期待に満ちあふれた新入生は、2年後に知識・技能・技術を多く身に付け卒業できるよう頑張ってください。



技短 news No5

新入生歓迎会を開催しました

平成28年4月5日(火曜日)、85名の学生が本校に入學しました。その新入生が早く学校に慣れてもらえるよう、4月6日(水曜日)、学生自治会が中心になって新入生歓迎会を開催しました。学生自治会は2月から計画を練り、準備をしてきました。開催日の午前中も教職員の協力を得ながら、2年生と一緒に配膳などの会場設営を行いました。

歓迎会は自治会長と校長の挨拶の後、ステージ上で学生自治会による学校生活の紹介、軽音サークルの演奏をはじめとするサークル紹介が行われました。

新入生を迎え入れた直後は、緊張した感じでしたが、おにぎりなどを食べながら高校の話など、会話が盛り上がり、最後は和やかな雰囲気になっていました。



平成 28 年 2 月 21 日(日曜日)午前 10 時から 1 年の保護者を対象とした保護者向け就職説明会を開催し、約 100 名の保護者が出席しました。

この保護者説明会は、学生の就職活動を本校の教職員と保護者が連携して支援していくためのもので、就職することの意味、企業の特徴、自由応募と推薦制度、進学などについて情報を共有することを目的としています。当日は、校長挨拶に続いて、就職支援委員会委員長の中野教授（精密機械技術科）から、今年度の就職活動についての説明がありました。去年に引き続き再び就活スケジュールが 6 月に変更になったこともあり、保護者の方々は真剣にメモを取られていました。全体説明のあとは、学科毎に別れて、就職担当者と担任が保護者とクラス懇談を行いました。本校は、今年も就職率 100%を目指して、学生の就職活動を支援していきます。



就活2

学生面談会 参加企業99社

平成 28 年 3 月 23 日(水曜日)、本校体育館で学生・企業面談会を開催しました。この面談会は 3 月 1 日に解禁となった会社説明会を、講義や実験・実習で忙しい本校の学生のために実施するものです。県内・県外の企業の皆さまとの連携、交流を図りながら、就職活動を開始する本校学生（1 年生）が直接、企業の採用担当者との面談を通して、会社概要や就職関連情報を知る非常に良い機会となりました。

事前の調査には、100 社を超える企業からの応募がありましたが、当日は午前 50 社、午後 50 社に絞り込んで参加企業毎にブースを設け、企業の方との直接面談形式で実施しました。学生は企業の方との面談は初めての経験であり、みんな真剣な面持ちで受けていました。実際の参加企業は以下の通りです。

◇学生面談会参加企業（ブース数） 午前の部 50 社 78 名 午後の部 49 社 79 名

なお、参加できなかった企業に対しては、後日、企業勉強会の場を設け対応することにしました。



就活3

企業講話 白鷺電気工業(株)代表取締役社長 沼田幸広氏

平成 28 年 4 月 7 日(木曜日)、就活真っ只中の 2 年生を対象に企業講話を開催しました。講師は、熊本市東区の白鷺電気工業(株)代表取締役社長の沼田幸広様です。実体験を交えたお話は、「これからの就職活動に大変参考になりました」「コミュニケーション能力の大事さが分かりました」「企業が求める人材になれるよう、これから色々な面で頑張っていきたいと思います」等の感想が聞かれ、就職活動の励みとなったようです。



資格にチャレンジ！！

47名がみごと資格取得

資格

平成 27 年度に学生がチャレンジし取得した資格をご紹介します。47 名の学生がみごと資格を取得しました。（括弧内は資格取得者人数）

【2 級技能士】

普通旋盤（1）、普通旋盤（実技試験合格）（2）、機械検査（1）、フライス盤（1）

【3 級技能士】

普通旋盤（10）フライス盤（学科試験合格）（1）、機械検査（2）機械検査（学科試験合格）（1）

電子機器組立て（3）

【CAD トレース技士（初級）】（15）

【基本情報処理技術者】（2）

また、平成 27 年度の後期技能検定の機械加工普通旋盤の部では、精密機械技術科 2 年の北里拓海さん、幸野真斗さん、前田篤希さんの 3 名が特に優秀な成績で合格したとして県知事表彰の「優秀合格表彰」を受けました。4 月 17 日に県庁で表彰式がある予定でしたが、熊本地震により中止となり、本校の実習室で里中校長から手渡されました。



電子機器組立て（電子機器組立て職種）3 級を取得した電子システム技術科 1 年の瀬口真由さん、立山郁枝さん、松本麻鈴さん。電子システム 1 年前期授業の「電子機器組立て」で、作業の意義や組立て手順を学んだ他、放課後などを利用して、作業標準時間（1 時間 30 分）までに作品が仕上げられるように、精一杯練習をしてきました。

本校では、今年度も資格取得に対する支援を行っています。

就職活動を有利に進めるために、ぜひ資格取得にチャレンジしてください。



本校も国際交流協定締結！

韓国、永進(ヨンジン)専門大学と国際交流ものづくり

国際交流

平成 28 年 3 月 3 日(木曜日)、4 日(金曜日)、韓国・大邱(テグ) 広域市において、既に包括連携を結んでいる二つのグループ、本校-熊本県工業連合会と大邱機械工業協同組合-永進専門大学が、相互の交流と協力体制を構築するために、国際交流協定を締結しました。

この交流協定は、1 年以上前から包括連携を結び、交流活動を行っていた熊本県工業連合会と大邱機械工業協同組合の呼びかけによって実現したもので、本校と永進専門大学とは協定締結前から相互訪問、学生の交流が実現していました。特に、昨年の夏休み、本校で実施した国際交流ものづくり教育プログラムでは、両校の学生が混成のチームを作って金網を登るロボットづくりに励み、歴史や文化の違いを理解して協働することの重要性を学ぶ貴重な機会になりました。

毎年十数名の卒業生が海外勤務する昨今、今回の国際交流協定によって、本校の学生も交流活動を通じて国際的なセンスを磨く機会を持つことができるようになりました。今年度は地震の影響もあって国際交流プログラムは見送ることになりましたが、秋には国際交流協定締結記念のシンポジウムを開催する計画も、持ち上がっています。グローバル時代、学生も国際的感覚を磨き、地域の活性化につながる活動に発展することを期待しています。

なお、熊本地震に際しては、永進専門大学と大邱機械工業協同組合から励ましのメッセージや救援物資をいただきました。有難く、感謝しています。



熊本県立技術短期大学校
情報誌 No.32
平成 28 年 7 月発行
編集 広報委員会

〒869-1102

菊池郡菊陽町原水 4455-1

Tel 096-232-9700

Fax 096-232-9292

URL <http://www.kumamoto-pct.ac.jp/>

E-mail kpct@kumamoto-pct.ac.jp

